



番町だより

千代田区立番町小学校

No. 4 7月号

令和3年7月1日 発行

タブレット端末を活用した教育支援を目指して

学校長

昨年度11月、GIGAスクール構想に基づき、タブレット端末が児童一人一人（2年生以上）に配られ約6か月が経過しました。当時、千代田区教育委員会指導課からは、「つながる！ 創り出す！ 切り拓く！」とのメッセージが宣言され、学校からも、“これまでの一斉授業の教室の風景を一新する教育の大改革である”と発信していました。この間、子どもたちのタブレットの使用率に目を向けると、デジタル教科書を活用するなど、教室での授業の様子などから使用頻度は増していることが分かります。しかしながら、コロナ禍での対話的な活動に制限があることを差し引いても、子どもたちが黒板に向かって学ぶ伝統的な手法や、教師が示す45分間の学び方（またはそのスピード）に子どもたちが合わせなければならない指導からの脱皮への試みが進まないことに、教育改革の困難さを感じています。

先日、ある教員養成大学の附属小学校でのICT活用に関わる実践についての講演で、上記に掲げた課題の解決のヒントになることを学ぶ機会がありましたので紹介します。その先生は、国語のデジタル教科書の読み上げ機能を使って本文を聞かせた際、終了時間に5分以上の差が生じていることに気が付いたそうです。あまりのばらつきに個々にリサーチしたところ、読み上げのスピードの調整だけでなく、理解できなかったところを聞き直すなどの機能を使用していたことが理由でした。また、自分の考えをノートではなくタブレットの書字機能を活用してまとめたものをもとに、3人ほどのグループでインカムを使いながら話し合わせたところ、話し合いが思いのほか進んだのだそうです。周囲を意識せずに話し合えたことその他、今まで、自分のノートの字の丁寧さやまとめ方に自信がなかったことから積極的になれなかったと感想を述べていたそうです。

これらの例は、学習速度に改めて着目して授業づくりをすることや、子どもたちの学びの負の要素を取り除くことの大切さを教えてくれています。2学期以降の教室での学びの風景の変化に期待したいです。

区では、全ての児童にとって学びの可能性を拡張することを念頭に、この夏休みに子どもたち一人一人に貸与されているタブレット端末のリプレイスが行われることになりました。学期末に回収となるため、夏季休業期間中にタブレットを活用した家庭学習を計画していたご家庭にとっては想定外のこととなりますが、どうかご理解いただければと存じます。

7月の目標

生活目標	場にふさわしい丁寧な言葉をつかおう
保健目標	夏を健康に過ごしましょう
給食目標	決められた時間内で楽しく食事をしよう

【スクールカウンセラー来校日】

◎都 SC 1日、8日、15日、20日

◎区 SC 2日、6日、12日、16日

【発達支援アドバイザー来校日】 8日

*面談を希望される方は、担任または副校長へお知らせください。

7月・夏季休業中の行事予定

7月	曜	朝会 時程	行事予定	校庭 開放
1	木	読書	委員会④	
2	金	読書	漢字検定 BGG	
3	土			
4	日			
5	月	集会 B4	七夕集会 B 時程 4 時間	
6	火	安全	安全指導・点検 校長ゼミ	
7	水	B5	音楽鑑賞教室(6年) B 時程 5 時間	
8	木	読書	避難訓練	
9	金	読書	学校保健委員会	
10	土			
11	日			
12	月	全朝	ステップ指導終 BGG	
13	火	読書	校長ゼミ	
14	水	B4	B 時程 4 時間	
15	木	読書		
16	金	読書	クラブ② BGG	
17	土			
18	日			
19	月	全朝	給食終	
20	火	C	終業式 C 時程 4 時間	

夏季休業中の予定

月	日	曜	予定
7	21	水	夏季休業日始
7	26	月	TOKYO2020観戦(日本武道館 4, 5, 6 年)
7	27	火	TOKYO2020観戦(日本武道館 1, 2, 3 年)
8	10	火	学校閉庁日始
8	16	月	学校閉庁日終
8	31	火	夏季休業日終



9月(2学期初週)の行事予定

9月	曜	朝会 時程	行事予定	校庭 開放
1	水	C	始業式 避難訓練 C 時程 4 時間	
2	木	安全	給食始 安全指導・点検 発育測定(6年)	
3	金	読書	委員会⑤ 発育測定(3, 4 年) 水泳記録会(5年)	
4	土			
5	日			
6	月	全朝	プール納め 発育測定(1, 2 年) ステップ指導始	
7	火	読書	発育測定(5年)	
8	水	B4	B 時程 4 時間	
9	木	読書	セーフティ教室(6年) 保護者会(2, 4, 6 年)	
10	金	体朝	ラジオ体操朝会 セーフティ教室(5年) 保護者会(1, 3, 5 年)	

ICT 機器の活用について

情報教育担当

先月の番町だよりで学校長が話題提示した中央教育審議会答申の要点の一つに「これまでの授業実践と ICT の最適な組合せの実現」という言葉がありました。また「学校文化として根付いている伝統的な手法は維持しつつ、タブレットを融合させて行う指導」についても触れ、これらを受けて番町小学校では授業改革を行っているところです。

教員にとって ICT を授業に取り入れることについては「ICT 機器を使うための授業」になってはならないことを全教員が認識し、あくまで子どもたちの学びを効果的に進めるためのツールとして捉え授業に取り入れています。

子どもたちにとって ICT の活用は学習意欲の高まりにつながりますが、初めの頃はその活用に時間がかかってしまうことも事実です。タブレット端末の管理方法やキーボードの入力方法、タッチパネルの操作方法、インターネットの活用方法、情報モラル等、様々な能力を育みながら自己の学びに活用していければと思います。

